

No. 566  
2018年  
9月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、近藤賞（2年に一度偶数年）、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 推薦提出書類

1. 近藤賞：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）
2. 業績賞、普及賞、実施賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦状フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

\* 論文賞の推薦はありません。

### 推薦締切日

1. 近藤賞：2018年9月30日
2. 業績賞、普及賞、実施賞：2018年11月30日
3. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年1月31日
4. 学生論文賞：2019年3月31日

### 推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

### 〔近藤賞〕

2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設された賞であり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。（100万円／名）

**推薦対象者：**ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

**推薦方法：**日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

\* 「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

\* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2019年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

### 〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金30万円／1名）

\* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

\* 2018年度より副賞金は「10万円」から「30万円」に変更されました。

### 〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、

この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。(副賞金20万円/1名)

#### 【事例研究賞】

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

#### 【論文賞】

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。(副賞金30万円/1件)

#### 【学生論文賞】

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

### ● 2018年秋季シンポジウム (第79回)

日 程：2018年9月5日(水)

場 所：名古屋市立大学 桜山(川澄)キャンパス

テーマ：「社会に浸透・拡大するAIとOR」

実行委員長：茨木 智(名古屋市立大学)

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

\*非会員の学生の事前振込みはありません。

\*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：8/29(水) 締切

2018年度年会費納入済み個人正会員は、2018年秋季シンポジウムに無料で参加できます。(ただし、年1回に限りますので、2018年春季シンポジウムに利用された方は、今回利用することはできません。)研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無

料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

\*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会(正会員と参加費同額)：

日本経営工学会(JIMA)、日本品質管理学会(JSQC)、日本信頼性学会(REAJ)、研究・イノベーション学会(Jsrpim)、日本設備管理学会(SOPE-J)、経営情報学会(JASMIN)、プロジェクトマネジメント学会(SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

### ● 2018年秋季研究発表会

日 程：2018年9月6日(木)~7日(金)

場 所：名古屋市立大学 滝子(山の畑)キャンパス

テーマ：「スマートモビリティ社会とOR」

実行委員長：田地宏一(名古屋大学)

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

\*非会員の学生の事前振込みはありません。

\*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員(非会員学生を含む)の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込、当日お支払い同額です。)

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

\*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

**懇親会：**

会場：名古屋市立大学 山の畑キャンパス内  
 日時：2018年9月6日（木）発表会終了後  
 懇親会費（事前振込み）：5,000円（8/29（水）締切）  
 ＊OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。  
 懇親会費（当日受付）：6,000円  
 ＊当日受付には限りがありますので、なるべく事前  
 振込みをお願いいたします。

**賛助会員の方へ：**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。

賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

**企業展示：**（株）オクトーバー・スカイ、（株）NTTデータ数理システム

**出版展示：**（株）近代科学社、（株）ITSC

**協賛学会（正会員と参加費同額）：**

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsripim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

**参加費関連問合せ先：**

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **2019年春季シンポジウム**

**日 程：**2019年3月13日（水）  
**場 所：**千葉工業大学 津田沼キャンパス  
**実行委員長：**井上明也（千葉工業大大学）

● **2019年春季研究発表会**

**日 程：**2019年3月14日（木）～15日（金）  
**場 所：**千葉工業大学 津田沼キャンパス  
**実行委員長：**井上明也（千葉工業大大学）

● **研究部会・グループ開催案内**

**〔最適化とその応用〕**

・第4回  
**日 時：**2018年9月8日（土）13:30～18:00  
 （開場は13:00頃）  
**場 所：**南山大学名古屋キャンパスS棟6階S67教室

**テーマと講師：**

- (1) 「配送計画問題に対する局所探索フレームワーク」  
橋本英樹（東京海洋大学）
- (2) 「NMRスペクトルからの化合物の立体構造推定—離散最適化手法の応用として—」  
小市俊悟（南山大学）

**問合せ先：**幹事 田中未来（統計数理研究所）  
 E-mail: mirai@ism.ac.jp

**〔エネルギーミックスの諸問題とOR〕**

・第9回

**日 時：**2018年9月19日（水）15:45～18:00  
**場 所：**電力広域的運営推進機関  
 新交通ゆりかもめ「新豊洲駅」から徒歩1分  
 ※15時45分に駅改札口前にて集合（改札口は一箇所のみとなります）

**テーマと講師：**

- (1) 16:00～17:00 見学会  
電力広域的運営推進機関（運用ルーム）の見学、質疑
- (2) 17:00～18:00 研究会  
「容量市場、需給調整市場、コネクト&マネージへの取り組み」  
進士誉夫（電力広域的運営推進機関企画部長）  
電力システム改革の進展、再生可能エネルギーの大量導入を背景に新たな制度が必要となってきた。中長期的な発電容量の確保、調整力の確保また送電設備の利用率向上を図るため容量市場、需給調整市場の検討、コネクト&マネージの実施を進めている。

※質疑応答を含め1時間程度

**定員：**25名

**会費：**懇親会参加者のみ4,000～5,000円を予定

**問合せ先：**幹事 宇田川佑介（(株)構造計画研究所）  
 E-mail: yusuke-udagawa@kke.co.jp

● **新宿OR研究会**

**〔第381回〕**

**日 時：**2018年9月18日（火）12:00～14:00  
**講 師：**八戸英夫氏（工学院大学工学部機械システム工学科）  
**テーマ：**「首都圏鉄道の振替輸送について」  
**場 所：**OR学会事務局会議室  
 （千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）  
<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。）

詳細：http://www.orsj.or.jp/activity/others.html

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第382回〕

日時：2018年10月16日（火）12:00～14:00

講師：野末尚次氏（(株)数理モデリング研究所）

テーマ：「OR理論の実用問題への適用：緩和問題として利用するimplicit enumerationアプローチ」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第383回〕

日時：2018年11月20日（火）12:00～14:00

講師：荒井武彦（足利大学工学部システム情報分野）

テーマ：「小惑星探査機はやぶさ2の科学データ解析」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第384回〕

日時：2019年1月15日（火）12:00～14:00

講師：柳内延也氏（東海物産(株)）

テーマ：「活性酸素消去食品（飯）」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第385回〕

日時：2019年2月19日（火）12:00～14:00

講師：山田修一氏（NEC ネットエスアイ(株)）

テーマ：「プロジェクトマネジメントスタイル最適化アプローチとOR理論の応用」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

● 他学協会協賛案内

\* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・一般社団法人未踏科学技術協会 特別講演会 量子計算利用シリーズ第2回

日程：2018年10月10日（水）13:30～17:00

場所：公益社団法人日本化学会 化学会館 6階 601会議室

主催：一般社団法人未踏科学技術協会

テーマ：「量子ハードウェアのビジネス利用」

WEB：http://www.sntt.or.jp/allsws/index\_181010.php

・日本経営システム学会 第61回全国研究発表大会

日程：2018年10月13日（土）、14日（月）

場所：愛知産業大学

主催：日本経営システム学会

参加費：日本経営システム学会会費に準ずる

WEB：http://www.jams-web.jp/information/2018autumn.html

・第21回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2018)

日程：2018年11月5日～7日（3日間）

場所：かでの2.7（北海道立道民活動センター）

主催：電子情報通信学会・情報論的学習理論、機械学習研究専門委員会

WEB：http://ibisml.org/ibis2018/

● 公募案内

\* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。

・神奈川大学工学部情報システム創成学科

学部学科：工学部情報システム創成学科

専門分野：社会数理システム分野あるいは数理システム分野（OR、数理情報学、シミュレーションなどを基盤としたシステムの問題を解決するための数理工学の分野）

職名：特別助手又は特別助教（任期制）

人員：1名

職務内容：特別助手（専攻分野の研究及び教育・研究の補助）

特別助教（専攻分野の研究と教育及び教育・研究の補助）

\* その他大学、学部において必要と認められた業務があります。

応募資格：大学院博士後期課程修了者（取得見込みを含む）又は同等以上の研究業績を有する者。着任時に学生の身分を有することはできません。

任期：5年とする

\* 本学を本務としていただきます（任期中に大学、又は大学院に在籍することはできません）。

\* 採用予定日以前の6ヶ月間に、学校法人神奈川大

学と有期労働契約（アルバイト含む）を締結している、又はしていた場合で、労働契約法（平成19年法律第128号）第18条第2項に規定する空白期間をおかずに、任用された場合、任期は通算して5年とします。ただし、本学に在学していた期間は、通算期間に算入しません。

- \*特別助手として任用された場合、特別助手として3年以上の経歴、かつ相当の業績及び相応の教育上の能力を有すると認められるときは、任期を限度として、特別助教に任用される場合があります。
- \*任用期間中の教育研究の実績等を総合的に勘案し、必要があると認めるときは、1回に限り5年間、任用を更新することがあります。

**提出書類：**(1) 履歴書（写真貼付）（本学所定書式）（「国籍」、「在留資格」、「在留期限」は記入不要）、(2) 教育研究業績書（本学所定書式）、(3) 主要な著書および論文抜刷（コピー可。コピーの場合、A4サイズ。両面印刷可。ただし、2頁を1頁にする縮小コピーなどは不可）、主要業績3点についてそれぞれ1,000字程度の要約をつけること、(4) 研究概要（これまでの研究についての記述。A4サイズ片面1頁、書式自由）、(5) 研究計画（着任後に遂行する研究内容について記述。A4サイズ片面1頁、書式自由）、(6) 教育に対する抱負（A4サイズ片面1頁、書式自由）、(7) 推薦者リスト（応募者についての所見をいただける方1名について、氏名・電話番号・E-mail・関係を記載する。A4サイズ片面1頁、書式自由）

\*提出書類リストを添付してください。

\* (1) 履歴書及び (2) 教育研究業績書の本学所定書式は <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/> からダウンロードしてください。

\* 博士の学位取得者は学位授与（博士）証明書又はその写しの提出を求めることがあります。

\* 提出書類は、返却致しません。また、選考及び採用以外の目的には使用せず、選考終了後に責任をもって破棄致します。

**応募締切：**2018年10月26日（金）必着

**選考方法：**(1) 第一次選考：書類審査、(2) 第二次選考：面談（教育・研究等についてのプレゼンテーションを含む）

**採否通知：**2019年1月末までに採否に関する通知をします。

**採用予定日：**2019年4月1日

**待遇：**給与・休日・勤務時間は本学規程による、健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険等完備  
\*詳細は本学人事部にお問い合わせ下さい。

**書類提出先：**〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学学長室気付 工学部長 林 憲玉 宛  
TEL: 045-481-5661（代）

（注）封筒の表に「25 社会数理システム分野あるいは数理システム分野 教員応募書類在中」と必ず朱書きし、書留便にて送付してください。

**問合せ先：**神奈川大学工学部情報システム創成学科主任 秋吉政徳

TEL: 045-481-5661（内線：3775）

E-mail: [akiyoshi@kanagawa-u.ac.jp](mailto:akiyoshi@kanagawa-u.ac.jp)

URL: <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/084.pdf>

## ● 研究助成案内

\* 詳細は、各財団のWEBおよび、OR学会WEBの「助成案内」をご覧ください。

### ・鹿島学術振興財団 2018年度研究助成

**研究対象者：**

- (1) 都市・居住環境の向上
  - (2) 国土・資源の有効利用
  - (3) 防災・危機管理の推進
  - (4) 文化的遺産・自然環境の保全
- 以上の分野での研究者または研究グループ

**助成金額と期間：**

- (1) 1件あたりの助成金は、継続期間（2年目）の分も含めて合計300万円以内とする。
- (2) 助成期間は2年間まで。

**使途：**研究に必要な設備品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費等

**募集期間：**2018年7月1日（日）～11月10日（土）

**推薦：**希望者には、OR学会より推薦書をお出しします。

OR学会推薦締切：2018年10月10日（水）

推薦希望問合せ先：OR学会事務局

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

\* 詳しくは、<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html> をご覧ください。

## ● 新会員 (2018年7月理事会承認分)

## —賛助会員A種—

(株)エス・エム・エス

## —賛助会員B種—

(株)リアルビズ

(株)エム・オー・シー

## —正会員—

長尾 光悦 北海道情報大学 (北海道支部)  
大和田 英明 パーソルキャリア(株)

## —学生会員—

佐々木 一帆 東北大学 (東北支部)  
永井 聖人 南山大学 (中部支部)  
西尾 啓朗 東京理科大学  
大原 靖之 東京工業大学  
八尾 優作 慶應義塾大学  
櫻井 駿平 慶應義塾大学  
福原 明 福島大学 (東北支部)  
中野 颯大 早稲田大学  
佐藤 彩子 千葉工業大学  
今泉 肇 筑波大学  
チョウ イ 東京工業大学  
下清水 慎 大阪大学 (関西支部)  
石原 弘将 愛知県立大学 (中部支部)  
五十嵐 響 愛知県立大学 (中部支部)  
片桐 一憲 愛知県立大学 (中部支部)  
丹野 一輝 慶應義塾大学  
齋藤 みいる 千葉工業大学加藤 大貴 慶應義塾大学  
董 航 名古屋大学 (中部支部)  
市瀬 将也 東京工業大学  
呂 文若 京都大学 (関西支部)  
加茂 寛也 京都大学 (関西支部)

\* 支部表記のない方は本部所属です。

## ● 会員著書情報

書 名: 例題でよくわかる はじめてのオペレーションズ・リサーチ

著 者: 加藤 豊, 加藤 理

出 版 社: 森北出版

発 売 日: 2018年3月17日

定 価: ¥2,376+税

I S B N: 978-4-627-07811-6

## 訂正

本誌第63巻7号および8号において、下記の誤りがございました。深くお詫びし、ここに訂正申し上げます。

第63巻第7号 p. 435 左段3行目

第63巻第8号 p. 515 左段3行目

(誤)

懇親会日時: 2018年9月5日 (木)

(正)

懇親会日時: 2018年9月6日 (木)

\*\*\*\*\*

## 第30回RAMPシンポジウム

\*\*\*\*\*

RAMPシンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

**日程**：2018年10月10日（水）、11日（木）

**会場**：広島国際会議場

**RAMP主査**：土谷 隆（政策研究大学院大学）

**実行委員長**：土肥 正（広島大学）

**プログラム委員長**：岡本吉央（電気通信大学）

**参加申込**：RAMP2018ホームページ <http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/index.html>にて行います。準備が整いましたら、日本オペレーションズ・リサーチ学会のメーリングリストでお知らせいたします。

**【プログラム】** \*セッション名・講演題目・講演順序は現在調整中です。

**10月10日（水）**

受付 9:20～ 開会の挨拶 9:50～10:00

1. **「暗号理論と数理最適化」** 10:00～13:00 オーガナイザー：河内亮周（大阪大学）  
藤堂洋介（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、Chen-Mou Cheng（大阪大学）、高安 敦（東京大学）  
〈昼食 13:00～14:15〉
2. **「特別講演1」** 14:15～15:15  
詳細は決まり次第お知らせいたします。  
2日目の「特別講演2」と合わせて、現在Jesus De Loera氏（University of California Davis）、László Végh氏（London School of Economics）（以上アルファベット順）の講演が予定されています。
3. **「金融工学とコーポレートファイナンス」** 15:30～18:30 オーガナイザー：木島正明（広島大学）  
室町幸雄（首都大学東京）、山崎和俊（関西大学）、鈴木輝好（北海道大学）  
〈懇親会 19:00～（予定）〉

**10月11日（木）**

受付 9:00～

4. **「確率的情報処理と情報統計力学の最前線」** 9:30～12:30 オーガナイザー：安田宗樹（山形大学）  
小渕智之（東京工業大学）、唐木田 亮（産業技術総合研究所）、徳田 悟（産業技術総合研究所）、高橋 茶子（東北大学）  
〈昼食 12:30～13:30〉
5. **「特別講演2」** 13:30～14:30
6. **「離散最適化の理論とアルゴリズム」** 14:45～17:45 オーガナイザー：塩浦昭義（東京工業大学）  
岡本吉央（電気通信大学）、高澤兼二郎（法政大学）、柳浦陸憲（名古屋大学）  
閉会の挨拶 17:45～

RAMP2018HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

\*\*\*\*\*

## 2019年度「研究者海外研修支援事業」派遣者募集要項

\*\*\*\*\*

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では前年度に引き続き、標記支援事業を募集します。応募要件を少し緩めましたので、ふるってご応募ください。

### 【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

### 【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1ヶ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜し海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。

### 【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

**募集定員：**2名

**支援内容：**1名につき50万円支給

**研修期間：**2019年度中の開始（出発日が2020年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

**募集締切：**2018年11月30日（金）

（12月下旬に審査結果を連絡予定）

**応募方法：**【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

**応募要件：**

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること



- ・応募時点で博士号を取得済みであること
- ・これまで海外の研究拠点におよそ4週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似予算（在外研究予算など）を受けていないこと
- ・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、（この援助により始めた（共同）研究について）研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

### 【申請書類】

応募する場合は以下の項目を記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報（氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号（OR学会員のみ記載））
- ・滞在計画（希望する派遣先研究機関、受入研究者、おおよその滞在期間等）
- ・滞在中の達成目標（滞在中に目指すこと）および準備状況
- ・研究業績一覧（発表論文、国際会議・国内会議発表等。査読有無についても記すこと）
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験、海外研究者との共同研究の経験など
- ・参照人の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス（または電話番号））
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況（滞在予定先との関係・受け入れ内諾など）

※応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

なお、学会ウェブサイトより申請書の雛形ファイル（Microsoft Word docx ファイル）が利用可能です。

### 【FAQ】

- ・他の研究費予算との合算は可能ですか？  
もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算（たとえば科研費など）が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要（期間の分割計画など）を記載してください。
- ・複数の機関に滞在することも可能ですか？  
少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。
- ・応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト（受け入れ教員など）の事前の受け入れ承認は必要ですか？  
必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

\*\*\*\*\*  
**ORに関するお薦め図書の情報をお寄せください**  
\*\*\*\*\*

本学会広報委員会ではORに関する情報発信を強化するため、学会ホームページをはじめとした情報基盤を拡充するためのプロジェクトを進めています。その一環としてORに関連する図書の情報を集め、ORの実践や学習・研究などに資する場を提供します。

第一弾としまして、広報用のTwitterアカウント【URL】[https://twitter.com/orsj\\_pr\\_dev](https://twitter.com/orsj_pr_dev)もしくは



において、ORの図書情報を収集し、集められた情報を当Twitterおよび機関誌などで発信していく予定です。

お薦め図書の情報について随時募集も行っています。書誌情報やコメントを以下の1., 2.いずれかの方法でお寄せください。

1. Twitterでツイート：

個人の公開Twitterアカウントにてハッシュタグ#OR本を付けてツイート。

2. Googleフォームから入力：

【URL】<https://goo.gl/forms/vSq221015kaLguby2>もしくは



にて図書情報を入力（アンケート形式）し送信。

いずれの場合もお寄せいただいた情報は上記Twitterアカウントにて公開されます。なお2.の場合、Googleフォームから入力された情報はそのまま1.と同一のTwitterアカウントに転送されます（ハッシュタグは不要です）。ただしTwitterの文字制限（140字以内）を超える場合、2つ以上のツイートに自動的に分解されます。またお寄せいただいた情報は、不定期に学会HP、機関誌などで紹介させていただく場合があります。

本件問い合わせ先：日本OR学会広報委員会内 E-mail: [or-review@orsj.or.jp](mailto:or-review@orsj.or.jp)

**2018年度年会費納入のお願い**

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ ガツカイ
-------	--

郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
--------	--

ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
--------	---

年会費（不課税） 正会員14,400円  
学生会員5,000円  
シニア会員7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担でお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としさせていただきました。

**2018年3月ご卒業の学生会員の方へ**

**1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。  
2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

**2) 退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）  
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。